

第 53 回弘明寺サロン開催記

「ぶらり散歩東海道・戸塚宿」

日時：平成 29 年 4 月 6 日（木） 10:00～14:30

集合：JR 戸塚駅

参加者：22 名

案内・解説：佐菜慎二 放送大学神奈川同窓会会長

佐菜さんが続けられている「ぶらり散歩東海道」を今回は弘明寺サロンとして開催し、案内と解説をしていただいて戸塚宿周辺を探訪しました。当日は好天に恵まれ、春らしい日差しと風のなか、濱田先生や新入会員の方にもご参加いただき総勢 22 名で歴史散歩を楽しみました。

戸塚宿があったのは、東の江戸見附と西の上方見附に挟まれた 2.3 キロの範囲で、現在も戸塚区の中心地として賑わっている所だそうです。江戸時代が今に繋がっていることを実感します。

訪れた順と主な特徴は次のとおりです。

「高松寺」（臨済宗、630 年以上前の創建、鐘楼門、なで仏）

「澤邊本陣跡」（戸塚宿に二つあった本陣のうちの一つ）

「羽黒神社」（澤邊家守り神）

「海蔵院」（臨済宗、山門に左甚五郎作と伝えられる龍の彫刻）

「八坂神社」（江戸時代から伝わる「お札まき」が行われる）

「富塚八幡宮」（ここより戸塚の名称が発祥したと伝えられる）

「親縁寺」（時宗）

「上方見附跡」 → 大坂（長い登り坂）

「お軽勘平・戸塚山中道行の碑」

「浅間神社」（富士信仰、樹齢 600 年の椎の大木）

「大運寺」（浄土宗）→(バス)→ 戸塚駅

これらの詳しい紹介文を佐菜さんがまとめられていて、同窓会ホームページの「会員投稿コーナー」（平成 28 年 10 月 18 日付）に掲載されていますのでぜひご覧ください。

「高松寺」では、境内に「なで仏」（おびんずる様）があり、「念ずるところをなでる」との説明で頭などの色が変わっていました。

「海蔵院」では、山門が改修中で、左甚五郎作と伝えられる龍の彫刻は残念ながら観ることができませんでした。改修完了は 10 月頃だそうです。

「八坂神社」では、毎年 7 月 14 日に男性十数人が女装して五色のお札を撒きながら踊る「お札まき」が行われるそうです。境内はそれほど広くないと思っていましたら、地元参加の方から「お札まきは戸塚駅からも練り歩いてお札を撒くので、子供達もお札をもらうのを楽し



高松寺なで仏



海蔵院本堂




上方見附跡

みにしている」と教えていただきました。地元根付いて広く親しまれ、伝統行事が受け継がれているのだとわかりました。

「お軽勘平・戸塚山中道行の碑」は、事前にDVDを鑑賞したことで興味深く観ました。

平成四年三月



お札まき

お札まきは、七月十四日の八坂神社の夏祭りに行う踊り、同社の元祿再興とともに始まったと伝えられています。この踊りは、江戸時代中期、江戸や大阪で盛んに行われていましたが、やがて消滅し、現在は東海道の戸塚宿にだけ伝え残されています。男子十数人が姉さんかぶりに袴の女装をして裾をからげ、浜うちわを持ち、うち音頭取り一人はボテカスラをかぶります。音頭取りの風流歌に合わせて踊り手が唱和しながら輪になって右回りに踊ります。踊り終わると音頭取りが左手に持った「正一位八坂神社御守護」と刷られた五色の神札を浜うちわで撒き散らします。人々は争ってこれを拾って帰り、家の戸口や神棚に貼ります。神社境内で踊り終わると、町内各所で踊り、神社に戻ります。風流歌の歌詞に「ありがたいお札、さすかったものは、病をよける、コロリも逃げる」という文句があることから、祇園祭と同様な御霊信仰に基づく厄霊除けの行事であることがわかります。神札を路上に撒き散らして人々に捨わせる御符配りは、現在では極めて珍しく、民間信仰資料として貴重です。

横浜市教育局委員会

横浜指定無形民俗文化財

お札まき

平成三年十一月一日指定
保存団体 お札まき連中
行われる 毎年七月十四日
時期及び場所 戸塚区戸塚町四一八九番地
八坂神社他町内各所

お札まきは、七月十四日の八坂神社の夏祭りに行う踊り、同社の元祿再興とともに始まったと伝えられています。この踊りは、江戸時代中期、江戸や大阪で盛んに行われていましたが、やがて消滅し、現在は東海道の戸塚宿にだけ伝え残されています。男子十数人が姉さんかぶりに袴の女装をして裾をからげ、浜うちわを持ち、うち音頭取り一人はボテカスラをかぶります。音頭取りの風流歌に合わせて踊り手が唱和しながら輪になって右回りに踊ります。踊り終わると音頭取りが左手に持った「正一位八坂神社御守護」と刷られた五色の神札を浜うちわで撒き散らします。人々は争ってこれを拾って帰り、家の戸口や神棚に貼ります。神社境内で踊り終わると、町内各所で踊り、神社に戻ります。風流歌の歌詞に「ありがたいお札、さすかったものは、病をよける、コロリも逃げる」という文句があることから、祇園祭と同様な御霊信仰に基づく厄霊除けの行事であることがわかります。神札を路上に撒き散らして人々に捨わせる御符配りは、現在では極めて珍しく、民間信仰資料として貴重です。



富塚八幡宮

八坂神社のお札まき



親縁寺にて



お軽勘平の碑前にて

散策の途中、参加者の皆さんからご感想をいただきました。「みんなと一緒にぶらりと歩きながら巡るのはとても楽しい」「一人ではなかなか行けない所にも案内してもらえるのでありがたい」等々。佐乗さんの「ぶらり散歩東海道」はこれからも続けられるそうですのでぜひご参加ください。

戸塚駅で解散後希望者で柏尾川のお花見も楽しみ、戸塚宿を満喫した一日でした。(高垣記)



浅間神社にて



柏尾川桜並木